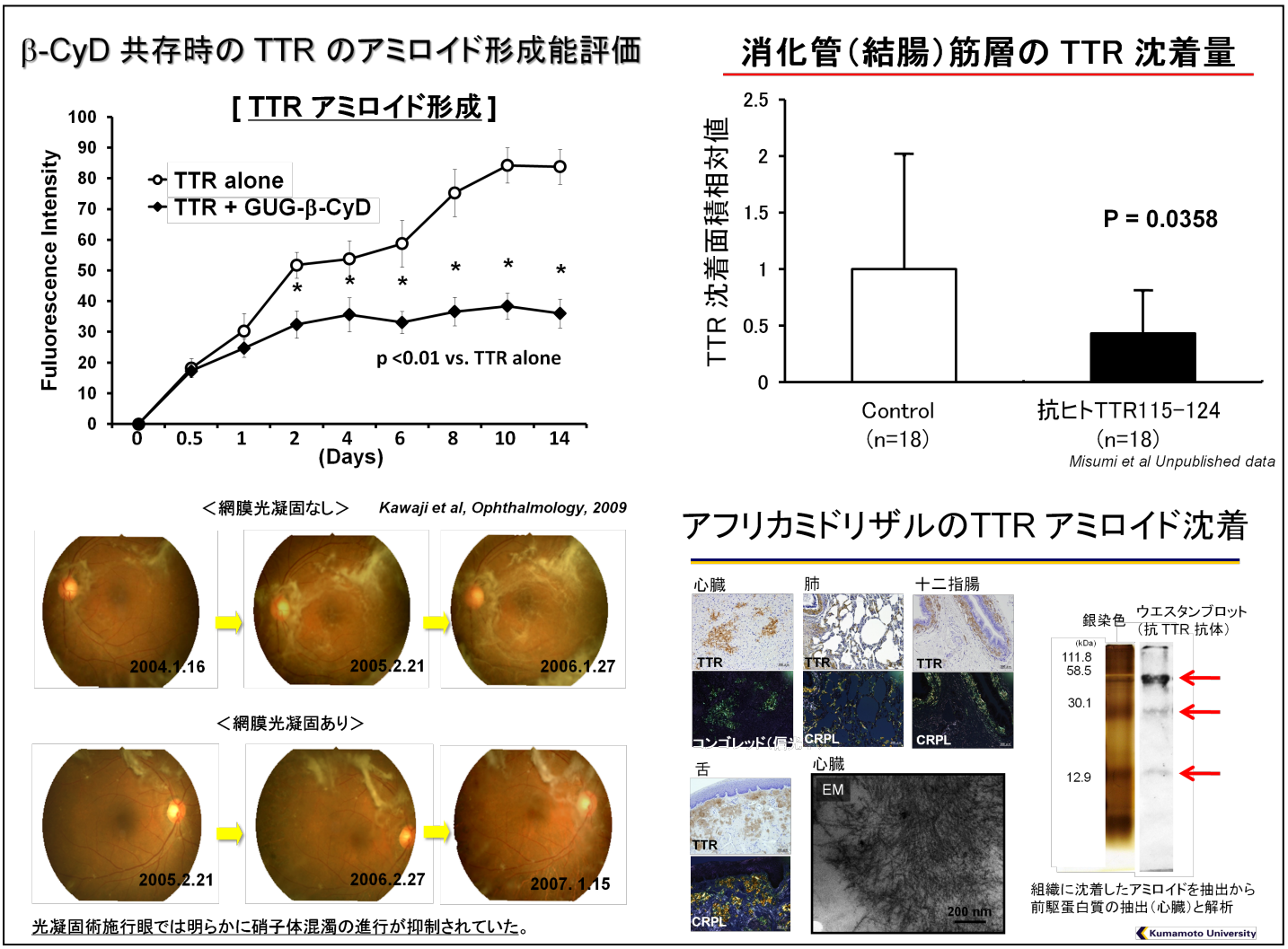
TTR関連アミロイドーシスのモデル動物の開発と肝移植によらない治療研究

研究分担者：熊本大学大学院生命科学研究部、病態情報解析学分野　安東由喜雄



1. トランスサイレチンのアミロイド沈着のrate limiting stepとなるmisfolidngを抑制するシクロデキストリン、およびmisfoldingの部位を認識する特異抗体で阻止実験を行ったところ、それぞれ、in vitroおよびin vivoでアミロイド形成が著明に抑制された。

2. FAP患者の肝移植後も進行する目のアミロイド沈着に対し、網膜の光凝固療法が著効した。

3. アフリカミドリザルは全身の諸臓器にアミロイド沈着が認められ、TTRアミロイドーシスのモデル動物になることが判明した。